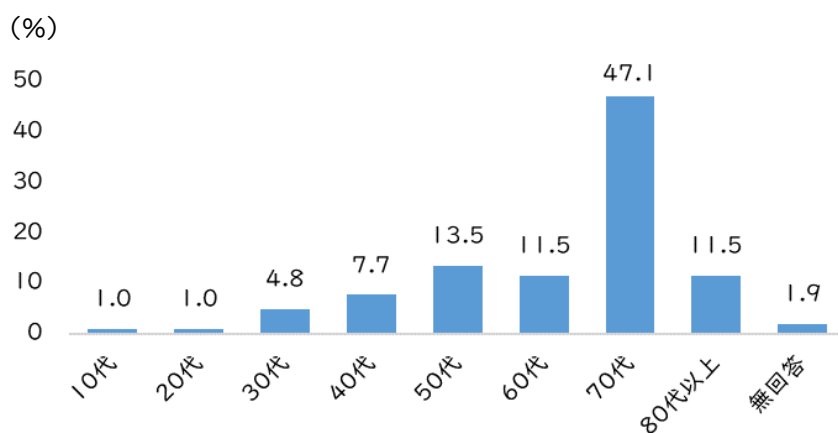


令和6年度 在宅医療・介護連携拠点事業市民講演会 アンケートまとめ

- 日 時：令和7年3月16日（日）14時00分～16時00分
- 場 所：クラフトシビックホール土浦 小ホール
- テーマ：「写真が語る、いのちのバトンリレー ～在宅医療・看取りの現場から～」
写真家・ジャーナリスト 國森 康弘 先生
- 参加者：109名（回答者数：104名 回答率：95.4%）

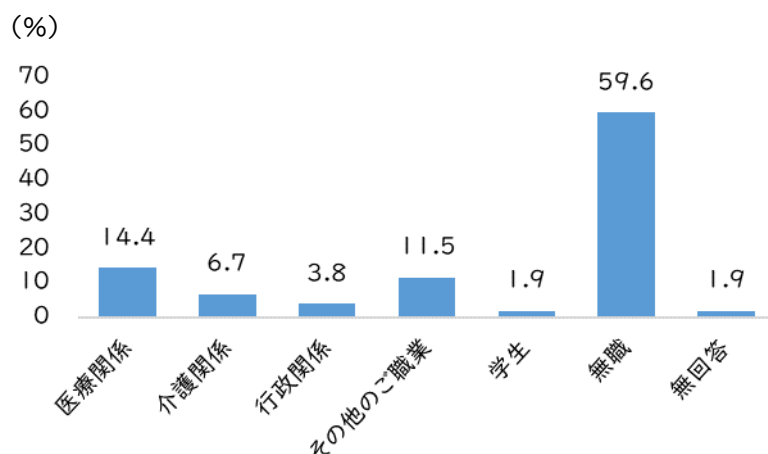
1 ご年齢

	人数	割合
10代	1	1.0
20代	1	1.0
30代	5	4.8
40代	8	7.7
50代	14	13.5
60代	12	11.5
70代	49	47.1
80代以上	12	11.5
無回答	2	1.9
合計	104	100.0



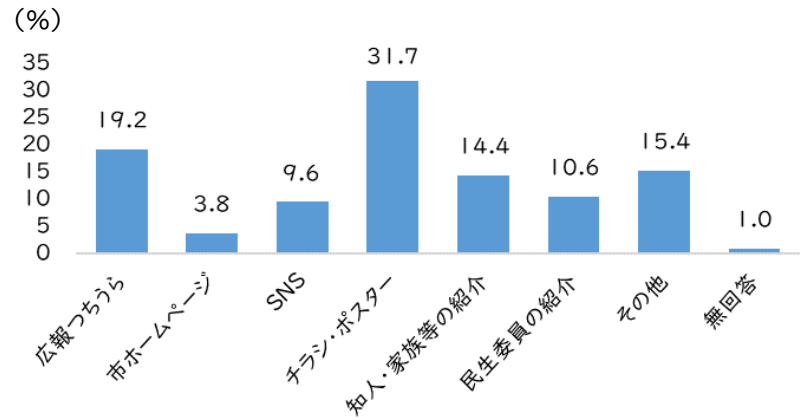
2 ご職業

	人数	割合
医療関係	15	14.4
介護関係	7	6.7
行政関係	4	3.8
その他のご職業	12	11.5
学生	2	1.9
無職	62	59.6
無回答	2	1.9
合計	104	100.0



3 この講演会を、何でお知りになりましたか。

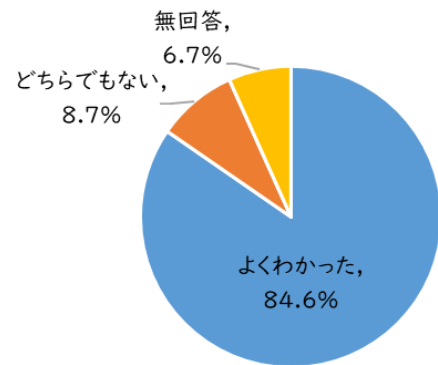
	人数	割合
広報つちうら	20	19.2
市ホームページ	4	3.8
SNS	10	9.6
チラシ・ポスター	33	31.7
知人・家族等の紹介	15	14.4
民生委員の紹介	11	10.6
その他	16	15.4
無回答	1	1.0



4 講演の内容について、お伺いします。

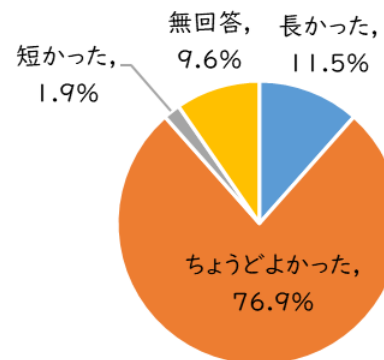
1) 講演の内容は、よく分かりましたか。

	人数	割合
よくわかった	88	84.6
どちらでもない	9	8.7
よくわからなかった	0	0.0
無回答	7	6.7
合計	104	100.0



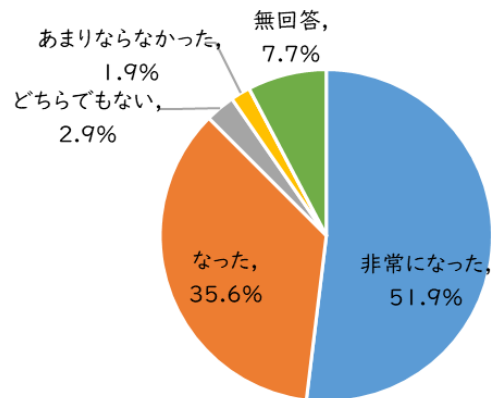
2) 講演時間は、いかがでしたか

	人数	割合
長かった	12	11.5
ちょうどよかった	80	76.9
短かった	2	1.9
無回答	10	9.6
合計	104	100.0



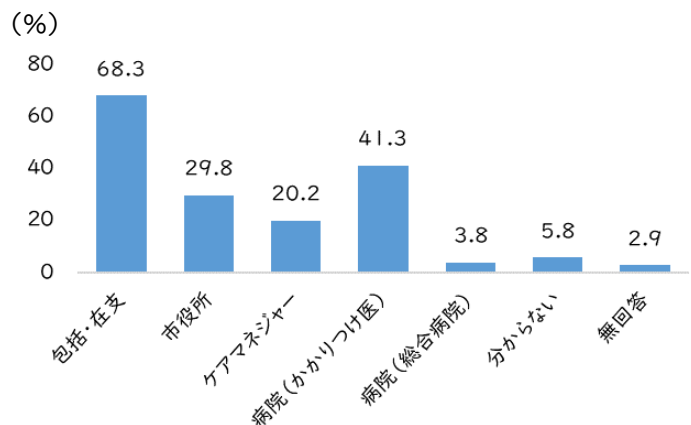
5 今回の講演を通して、在宅での看取りについて考えるきっかけとなりましたか。

	人数	割合
非常になった	54	51.9
なった	37	35.6
どちらでもない	3	2.9
あまりならなかった	2	1.9
ならなかった	0	0.0
無回答	8	7.7
合計	104	100.0



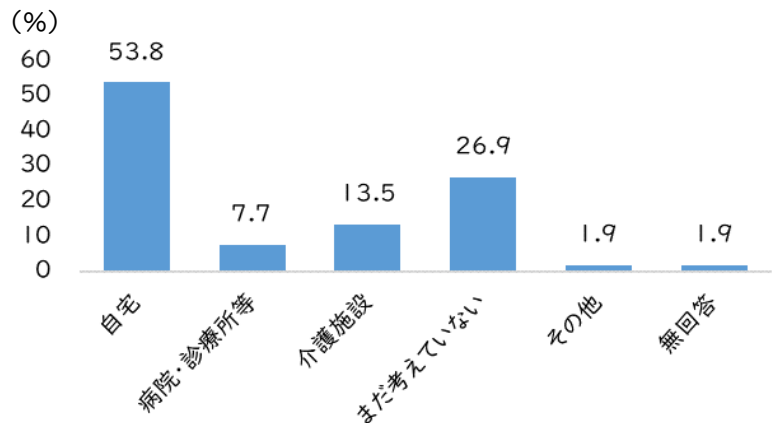
6 将来、療養が必要となった場合等に、どこに相談しますか。(複数選択可)

	人数	割合
包括・在支	71	68.3
市役所	31	29.8
ケアマネジャー	21	20.2
病院(かかりつけ医)	43	41.3
病院(総合病院)	4	3.8
分からない	6	5.8
無回答	3	2.9



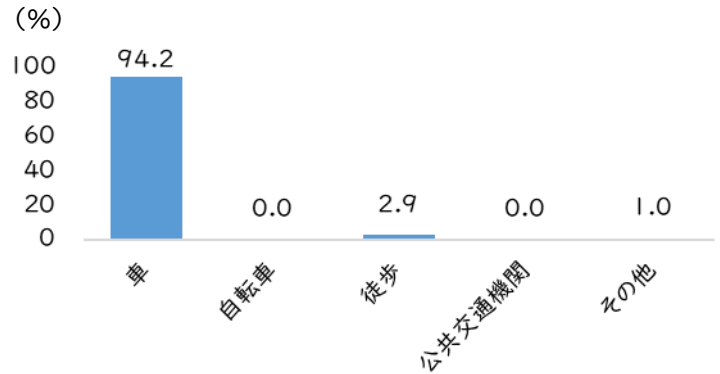
7 将来、自身の最後を迎える場所として、あなたはどこを希望しますか。

	人数	割合
自宅	56	53.8
病院・診療所等	8	7.7
介護施設	14	13.5
まだ考えていない	28	26.9
その他	2	1.9
無回答	2	1.9



8 本日、どのように来られましたか。

	人数	割合
車	98	94.2
自転車	0	0.0
徒歩	3	2.9
公共交通機関	0	0.0
その他	1	1.0



9 今後希望する講演会の内容や、本日の感想をご記入ください。

- ・自宅での最期の迎え方、看取りについて、この土浦で暮らして可能なのかしら？と思います。情報がもっとほしい。質問者の質問はよかったです。
- ・涙涙でした。限りのある命とどう向き合うか、周囲がどう支えるかを考えさせられました。看取りの現場では様々な葛藤がありながらも、見送る方も見送られる方も幸せな時間を得られているのだと思います。
- ・"三世代一緒に暮らしていた私もれんちゃんの話は重なり合って涙が止まりませんでした。現在 93 歳の母を介護していますが、介護していると思っていません、一緒に暮らしているだけですと思わせてくれる母に感謝しています。祖父母を看取り、今度は母です。とにかく楽しく、喧嘩しながら孫たちと進んでいきます。母の生きざまを子供、孫達と看取っていきたい。93 歳の母は「曾孫が遊びにくると 110 倍ファイトがもらえるんだよ」と言っています。
ALS。生きるか？死ぬか？家族に負担がかかる、若い子供達に迷惑をかけたくないとおの方の判断や決意は素晴らしい。血のつながりだけでなく、皆の応援、手助けで子供達の成長をみることができた。最期は我が家で…生きぬこうとする思いは、「知恵」も「力」もくれるんですよ。今回の講演で大きな大きな「力」と「勇気」をもらいました。子供達や孫達に私の生きざまを伝えていく、勇気をもらいました。ありがとうございました。おむつ交換を待っている母の所へ急いで帰ります。"
- ・支援できる仲間ができれば、本来当たり前であろう在宅（自宅）での最期を迎えられるようになることを実感しました。人とのつながりの必要性を感じました。
- ・病院ではなく、在宅で最期を迎えるため、多くの人に関わっている姿を写真を通して知ることができました。本人もすごく幸せそうで、人間らしく死を迎える様子を伝わりました。
- ・自身の最期を迎える場所として、自宅を思いますが、介護する方に迷惑がかかるので、介護施設の方が気楽な気持ちです。
- ・休憩がなくて、トイレに行きにくかった。チラシの色合いが暗くて興味を持てなかった。とても重い内容でしたので、覚悟をもって出席したかった。先生の活動には感銘した。
- ・写真を見ることによって、目と耳から入ってきたので分かりやすかった。ほのぼのした気持ちになったと同時に、色々考えさせられました。ありがとうございました。参加してよかったです。

- ・資料を読むのではなく、主に写真を見せながら講演をしてくださったので、とても分かりやすかったです。家族の協力があって自宅で最期を迎えることができますが、人と人のつながりが大切であるということを学びました。
- ・今後の自分のこと、真剣に考えなくてはと思いました。
- ・今日の講演会をもっとPRして、もう一回してほしい。こんな良い講話をまた聴きたい。話し方が年寄りには丁度良く、分かりやすかった。入居の金額がいくら知りたい。涙もろくなる。
- ・子供のいない夫婦2人暮らしです。今日は夫とききました。自分たちの終末期についてちゃんと話すきっかけと頂けて、今日の講演会を聞くことができて本当によかったです。そして人生を迎えるその日まで笑顔の時間を少しでも増やしたいです。
- ・理想の看取りを心にとめて、困難な状況を抱える看取りに穏やかに取り組んでいます。心の位置づけの大切さを再認識した。
- ・引き続き関連のテーマを計画してほしい。
- ・看取りの後で残された者が温かい気持ちで生きていけるように命のバトンをしたいと思いました。
- ・大変参考になりました。関係者の皆さんありがとう。
- ・最期を迎える時をどこに決めるか等人と人とのつながりがとっても大事なんだと改めて知らされました。本日はありがとうございました。
- ・講師の素晴らしい写真を通し、理解することができましたが、涙があふれ感動売るばかりでした。本当にありがとうございました。
- ・往診のドクターを確保していれば様々なサービスを利用して在宅でも看取り可能。今後の参考にしたい。國森先生の写真から看取りだけでなく、赤ちゃんの未来の瞳を見られて良かったです。
- ・大変良かったです。これから土浦でやりたいことが少し見えた。
- ・在宅医療、看取りが人と人をつなぐ、すごいことだと思います。農文協が大好きで、以前は神保町によく行って立ち読みをしていました。その時、國森さんの本、写真をよく目にしていた、今回は地元茨城でお会いできてうれしかったです。
- ・訪問診療看護師として働いており、看取りに日々携わっております。今日の講演を聞いて、見て、共感することがたくさんありました。まだやれる事がたくさんあると思いました。先生と同じように私もたくさんの思い出に残る人生が脳裏に蘇りました。これまで出会った人たちから教えてもらったことは今、そしてこれから出会う人たちへ役立てられるようにしようと思います。今日は遠いところから本当にありがとうございました。
- ・スライド写真の中で似ている人を見つけると命のリレーを感じました。写真は残るからいやだという方もいますが、いいですね。
- ・終末医療を考える年齢の今の私ですが、身につまされる事業、良いお話がきけました。ありがとうございました。地域医療の格差の大きさが感じられますが…。
- ・まだまだ先の事でありますように願うばかり。「家族に優しく」をモットーに。

- ・身内の看取りの時の思い出しました。自宅で看取りがなかなかできない中で、家族が支え合って、看取りを子供達に経験させることができ良かったと思います。核家族だと「人の死」を見ることがないと重いので、國森さんの講演が全国小中学校へ広がるといいと思いました。
- ・一週間前に義母を送ったので思い出してしまいました。
- ・とても素晴らしい内容で涙が止まりませんでした。地域づくりをするために具体的に土浦での場所づくり、人づくり、考え方を育てることの必要性を感じました。家族の心構えができるようにするためには、何が一番大切か聞いてみたかったです。
- ・素晴らしい企画をありがとう。こんな文化の力が力になりますね。手話通訳者2人の活躍に拍手を送ります。
- ・心に残ったところをしっかりメモしました。このメモをもとに、家で留守番をしてくれている主人に話そうと思います。明日からの生き方、ひととの繋がり方が少し変わっていきそうです。素晴らしい写真とお話をありがとうございました。
- ・とても素晴らしい写真とこうえんでした。このような講演にもっとたくさんの人に参加してほしいと思いました。主催者側にもっと人を集めるエネルギーを持ってほしい。もったいないです。
- ・在宅での看取りに消極的なご家族もおられますが、周囲からの情報や経験談がもう少し広まっていくと良いと思いました。
- ・80代で今は車に乗れますが返納したらどこにもいけません。自分が近づいているせいか、今までで一番良かったです。
- ・感動しました。一人ではできないことも声を掛け合っていけば訪問してくれる人増えていくことを期待したい。
- ・とても良かった。感動しました。
- ・貴重なお話、写真をありがとうございました。自宅で看取った母のことを考えながら拝聴しました。あれで良かったかなと後悔ばかりですが、少し気が楽になりました。ありがとう。本当に。今日は本当に来て良かったです。
- ・うちも同じような立場で、すごく色々感じました。
- ・このような話を繰り返し、大勢の人で共有できるようこれからも機会があれば。
- ・「子供に迷惑をかけたくない」という思いからホームや病院に入るのが当たり前になってしまった時代に、とても貴重なお話や写真をありがとうございました。このわが広がり、住み慣れた自宅での看取りが増えますように。
- ・色々な方の最期を拝見する内容でした。パターンが同じであることに悲しさばかり感じて、自宅で看取ることがどうなのかを理解することがあまりできなかった。ロングショットに預けているので、自分が否定されてしまった感じはありました。質問は一人で終わりにせずに、もう一人くらい聞いてほしかったです。
- ・体力筋力を維持するように自力でできることは自分です。会話をするようにしている。ストレスをストレスと感じない強い心を作りたい。人との和や新しい出会いを作り、刺激を受けていきたい。
- ・人の輪のパワーを感じました。ありがとうございました。

- ・貴重な写真を見せていただきまして命を大切にしている人達のキラキラした涙を見て感動しました。先生の言葉も伝わりやすい、優しい気持ちが伝わりました。ありがとうございました。
 - ・在宅介護・医療に熱心に取り組んでいる方たちがいらっしゃることに感謝です。東日本大震災の写真はショックでした。
 - ・このような講演会は今後お願いします。ありがとうございました。
 - ・とても思い話でした。これから笑顔で暮らすことを一回でも多く残すようにしたいと思いました。人とのつながりを大切にしたいと感じる。
 - ・命の主演はだれか。命を全うする時に関わる人達が考えなければならない。講話の中でも出てくるが、お世話をする人が世話しやすい方にいきがちです。生きたいところで人生を全うする希望をかなえて上げるにはお世話できる環境を地域で作ることです。しかし、現実の生活形態では大変難しいのです。せめてリアルに死を見せてあげてほしい。今は形ばかりの葬式で見送ったと思っていないか？今日のような話を皆に広めたい。
 - ・心が温かくなりました。
 - ・映像を見ているうちに家族のことを思い出し、涙が多く出ていました。やはり自分も最期は自宅でと思います。看取りのところもやすらかな映像でとても感激しました。
 - ・看取りについて考える機会となり、親の最期はどうか、自分の最期は当課も講演を聴きながら自然と考えていました。これまでの経験、取材をもとにした講演にとっても引き込まれました。貴重なお話をありがとうございました。
 - ・子の通う学校でも講演をお願いします。子供にもこういったお話、実話を聞いて学び、感じる事が大切で必要なことだと思います。定期的にまた土浦での講演をお願いします。
 - ・身寄りのない人の老後で心得ておくこと。災害時、福祉避難所等での療養生活について体験者の話を聞く。
 - ・大変貴重なお話をありがとうございました。私自身、母を自宅で看取りました。看取りケアについて大変興味深く拝見させていただきました。先生の穏やかな語り口と、とても素敵なお写真に癒されました。家族のあたたかさはやはり一番だと感じました。
 - ・母の最期を思い出しました。
 - ・映像で見る講演会は初めてでしたが、命とは生きるとは、人と人とのつながりとは、色々なことを考えさせられるお話でした。自分自身のことを考えると、考え方や生き方を見直すことを前向きに考えていきたいけどできるかな。とても良かったです。ありがとうございました。
 - ・いいすばらしい講演会でした。先生の優しい人柄がにじみ出ていました。
 - ・先生の取組は本当に真心のこもっており、非常に感激し涙が出る。本当に良い写真でした。ありがとうございました。
 - ・在宅医療か病院か真面目に考え、自分の考えもどうしたらいいかまとめておく。
 - ・話を聴きに来てよかったです。ありがとうございました。
 - ・任意後見制度、老人ホーム等の種類、入院費等について希望します。
- しゃくりさん（ALS 患者）と娘達のお話、そして多くの若者の関係等ただ頭が下がります。本当にありがとうございました。ご苦労様でした。

- ・これから来る自分の未来を考える良い機会になりました。
- ・介護の基礎知識や認知症の接し方などの内容の講演。
- ・私は子供が産めず、将来一人で亡くなるであろう未来に不安しかありません。これから地域一帯で助け合う一昔前のあたたかさが戻ることを祈っています。